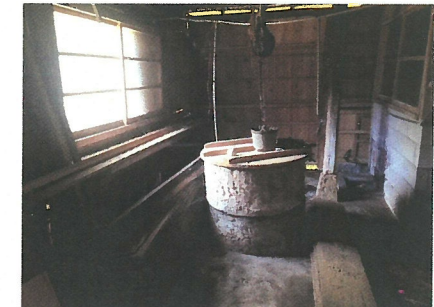


プロローグ

指宿市東方にある築100年を超える民家。かつてそこで育った息子は都会へと巣立った。
時は流れやがて定年となってふる里へ戻ってきた時、見た家は長年空き家となった我が家だった。

「自分を育ててくれた地域のためになんとかこの家を使えないか？」

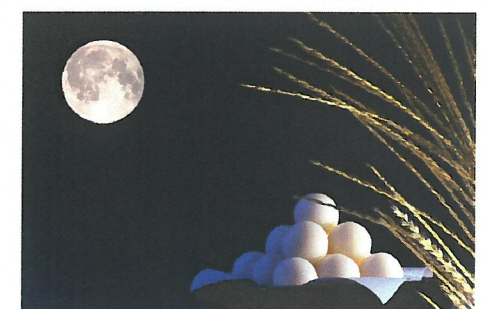
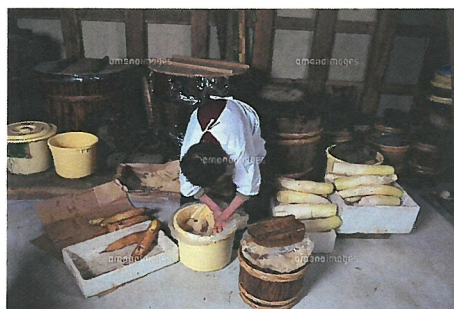


I B C (IBUSUKI BAR'S COLLEGE)

「お婆の技の継承学校」
(鹿児島市だったらKBC, 垂水だったらTBC……)

ついひと昔前までは日本のどこでも見られた当たり前の風景。

自分たちが作った野菜を漬物にしたり自前の味噌を作ったり、お正月には食べる分だけの餅をついたり、季節の歳時記に合わせた設えを準備したり。古来日本人はそういった事で豊かな四季を感じてきたし、その地方独特の色どりとして残ってきた。



それが最近では家で漬物をする姿はほとんど見られないし季節ごとに設えを変える家もほとんどない。住宅の問題かもしれないがお年寄りがいない家族が増えて、
「ばあちゃん」たちの技の継承がうまく伝わっていないのではないか？

日本の家庭を支える当たり前の技が消えていっている。

その火を消さない為にも「空き家」を活用して地元に住む「ばーちゃん」達に立ち上がっていただきましょう！若いお母さんたちに技を継承してもらいましょう！
「IBUSUKI BAR'S COLLEGE」の始まりです。